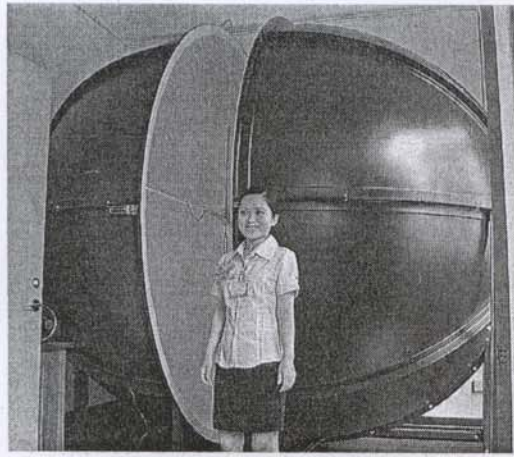


LED照明

中国・深圳に合併工場

ルクス・エナジー 納期短縮目指す

発光ダイオード(LED)照明の設計・開発を手掛けるルクス・エナジー(新潟市、渡辺和市長)は照明器具の生産に乗り出す。このほど中国に合併会社を設立し工場を立ち上げた。これまでの製造委託から自社生産に切り替え、顧客への納期の短縮化や不良品率の低下を目指す。新商品の開発速度も高め、国内外で攻勢をかける考えだ。



中国の合併会社には新型のLED照明検査装置を導入した

同社を含む日本と中国の4社で、生産拠点となる合併会社「ルクス・エナジーチャイナ」を深圳に設立した。ルクス・エナジーの出資比率は約29%。

すでに直管型LED照明や、街路灯向け照明の生産を始めている。生産能力はオフィスなどで使われる40形の直管型照明換算で月産4万本程度。従業員は約20人で、2016年までには10倍程度に増やすことを目指している。

工場には最新のLED照明検査装置を導入した。直径2・5センチほどの球形で、内部に照明器具を入れて明かりのムラの出方などを検査する。通常の装置に比べ直径が約2・5倍ある大型で、小売店舗などで使う、長い直管型照明など様々な種類の器具を検査できる。

ルクス・エナジーはこれまで、LED照明の設計・開発を手掛け、生産は中国の協力会社に委託していた。大量生産した場合に歩留まりが悪化したり、顧客への商品の納

期が遅れたりするなどの課題があった。

生産拠点を設けることで、今後新商品の開発も加速させる。オフィス向けでは天井に埋め込むタイプのベースライトの生産を始めるほか、スポットライトなどの補助照明

の生産も目指す。

製品のラインアップを増やし、今後は販路も広げる考えだ。これまでは国内のほか、海外では代理店を通じて中国やシンガポールなどで販売していた。

今後は他社に比べて割

安い価格やムラのない柔らかい明かりを売りに、欧州や中東などでも事業を展開する。

長寿命・低消費電力が特徴のLED照明は市場が拡大している。矢野経済研究所によると、国内のLED照明市場(一般

照明用途)は09年の374億円から10年は730億円程度に拡大したという。

ルクス・エナジーの売上高は12年6月期が8000万円と見込まれ、13年6月期は1億6000万円を目指している。

日本経済新聞

2011年 7月28日

木曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 電話(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 電話(06)6943-7111
 名古屋支社 電話(052)243-3311
 西部支社 電話(092)473-3300
 札幌支社 電話(011)281-3211
 電子版アドレス
<http://www.nikkei.com/>
 購読のお申し込み
 ☎0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>